



## 日々新たにー学びに終わりはない

卒業生の皆さん、大学院・専攻科を修了された皆さん、ご卒業おめでとうございませす。教職員を代表して心からお祝い申し上げます。今日まで物心両面で支えてこられた保証人の皆様におかれても喜びはひとしおとお喜び申し上げます。また、ご多用中にもかかわらずご臨席賜りましたご来賓の方々に厚くお礼申し上げます。

さて、皆さんは4年前の4月に希望に胸を膨らませて福山平成大学に入学しました。皆さんが在学した4年間は歴史に刻まれるような激動の4年間でもありました。入学した2022年2月にはロシアがウクライナへの軍事侵攻に踏み切り、翌年にはイスラエルとハマスの軍事紛争が起きました。権威主義的な国家と民主主義的な国家の対立が深まり、国際平和にも懸念が生じています。23年7月には安倍首相銃撃事件が起こり日本中を震撼させました。皆さんが2年生になった年の5月には、世界中に猛威を振った新型コロナウイルス感染が5類に引き下げられ、ようやくキャンパスライフは正常化に向かいました。そして昨年1月にはアメリカに第2次トランプ

政権が誕生し、世界情勢は大きく変わりました。自由貿易、法の支配、国際協力、人権や多様性の尊重等の戦後世界の発展を支えてきた枠組みが揺らいでいるように見えます。一方我が国では、つい先月の総選挙で高市総裁率いる自民党が圧倒的多数の議席を占めました。これからの日本は大きく変わって行くのかも知れません。また、皆さんが1年生の時に登場したチャットGPTをきっかけに生成AIは驚異的なスピードで性能を高めながら普及し、世の中を劇的に変化させています。多くの仕事にAIを取って代わられ、仕事と人の関わり方が変わって行くことは間違いありません。

わずか4年の間に我々を取り巻く環境はこのように大きく変わっています。これから皆さんの多くはその10倍以上の時間を社会人として働くこととなります。人生100年時代では更にその2倍の約80年間を生きることとなります。その間に社会にどんな変化が起きるかは想像もつきません。皆さんは今日から筋書きの見えない新たな舞台で主役を演じて行くのです。舞台上に上る皆さんにー

つ思い出してほしいことがあります。

4年前の入学式で「まことに日に新たに、日に新たに、また日に新たななり」という言葉を心に留めて学生生活を送って欲しいと申し上げました。これはこの「日新館」の出版になった言葉ですが、今日が昨日より成長するよう日々努力しなさい、また、毎日新しいのだから物事に挑戦するのに遅いことはない、という意味だと申し上げました。覚えていてほしいでしょうか？このことは社会に出てからも同じです。不透明な時代だからこそ学び続けることは一層大切なことです。これからの長い日々を、毎日新たなものとして精進するかどうかが皆さんの人生の質は大きく異なります。卒業式を行った日新館の意味を折りに触れて思い出し、日々精進して頂きたいと思えます。学びに終わりはないのです。

皆さんの活躍と、幸せな未来を心からお祈りして卒業のご挨拶といたします。

令和八年三月二十一日

福山平成大学 学長 富士彰夫



## 実社会に羽ばたいていく皆さんへ

本日の令和7年度福山平成大学学位記授与式にあたり、ご挨拶申し上げます。

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご臨席の保証人の皆様にも心よりお慶び申し上げます。また、ご多用中にも拘わらずご臨席を賜りましたご来賓の皆様にも厚く御礼申し上げます。

さて、皆さんがこれから羽ばたいていく社会は、国内外を問わず、不確実性という霧に包まれています。国内では、生産年齢人口の減少や地域間格差の拡大、地域の弱体化に起因する医療提供体制の確立、高齢化の進展と人生100年時代の到来に伴う社会構造・産業構造の変化など、様々な課題が山積しています。

一方、海外に目を向けると、先進諸国においても既存の政治に対する不満や現状への閉塞感が高まり、大衆を扇動するような急進的かつ非現実的な政治思想であるポピュリズムの台頭が指摘されています。また、国家・民族間の紛争がまだ継続し、その終結が見通せない状況です。加えて、世界各国の共通原則であった「国際協調」と「自由貿易」という二大原則も揺らいでいます。さらに、新たなパンデミックへの備えや気候変動がもたらす予想外の災害への対応という課題のほか、カーボンニュートラル社会の実現をはじめとする持続可能な開発目標(SDGs)の達成、そしてその先を見据えた取り組みが地球規模で求められています。

このような時代に必要なのは、知識や技能に加え、多様な人と協働し、変化の中で価値を生み出す力です。そこで皆さんに、特にお伝えしたい言葉があります。それは「エンゲージメント」です。自分の役割や仕事、学びに主体的に関わり、周囲と信頼を築き、より良い成果と成長に向けて力を注ぐ姿勢です。組織や地域社会では、

一人ひとりが意味を見出し、工夫し、協働してこそ活力が生まれます。どうかそれぞれの進路先で、「活力・熱意・没頭すること」を失わず、「何に貢献できるか」「どうすれば良くできるか」を問い続け、前向きに関わり続けていただきたいと思えます。

また、皆さんがさらに成長していくうえで、もう一つ大切なことがあります。それは「先輩の背中を見て学ぶ」という姿勢です。皆さんの進路先には、経験を積み、困難を乗り越えてこられた諸先輩方がおられ、仕事の進め方、判断の軸、相手への配慮、失敗からの立て直し方などは、マニュアルに頼るだけでなく、日々の振る舞いの中にある「なぜそうするのか」をよく観察され、学びを自らの行動へと移していかれ、その積み重ねこそが、皆さんの成長速度を大きく変えるはずですよ。そして、いざ皆さん自身が、次の世代にとっての「背中」となれば、未来を創造しうる「未来創造人」となれることを願っております。

さらに、皆さんの未来を語るうえで欠かせないのがAIの活用です。人口減少による人手不足や産業構造の転換が進む中、変化の速い市場や複雑化する課題に迅速かつ的確に対応する力が求められています。AIは単なる効率化のアイテムにとどまらず、知を組み合わせた、選択肢を広げ、判断を支える基盤となりつつあります。全世代が学び合いながら活用し、仕事や学びの質を高めることが、競争力と持続可能性の鍵になるとされています。もともと、現在のAIは結論の妥当性や影響まで保証するものではありません。だからこそ、私たち一人ひとりが内容を吟味し、最終判断を行う姿勢は、先ほど申し上げたエンゲージメントに通じるものといえます。そのような姿勢の積み重ねが、周囲からの信頼

を高め、成果へとつながることでしょう。卒業生・修了生の皆さんは、これから様々な組織に所属し、社会の一員として組織を発展させる役割を担っていきます。エンゲージメントを大切に主体的に関わり、先輩から学び、AIを含む新しい技術も積極的に取り入れながら、「揺るぎなく前進」されることを心より願っております。

そして、皆さんに入学式でお伝えさせていただいた、福山平成大学創設者の宮地茂先生が表明された「御幸五訓」、

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する
  - 一、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす
  - 一、不屈の魂を養い、紐帯性を培う
  - 一、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む
  - 一、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む
- という理念は、これまで皆さんが積み重ねてこられた学びと挑戦を支える指針となってきたものと思います。卒業の本日、あらためて胸に刻んでいたとき、福山平成大学の卒業生として実社会に羽ばたかれることを願っております。

また、本学で得た恩師・学友との絆は生涯の宝です。同窓会を通じて交流を深め、自らを高める糧としていただくとともに、いつでも気軽にこのキャンパスにお越しください。お元気な姿をお見せいただければと思います。皆さんの活躍が、後輩諸君の成長と学校法人の益々の発展につながるものと考えます。どうか皆さんには、昨年、開学30周年という節目を迎え、これまで約1万人の卒業生・修了者を輩出してきた福山平成大学の卒業生としての誇りをもって、福山市をはじめ地域社会の発展に貢献する貴重な存在として活躍されることを心から期待申し上げます。

最後になりますが、これまで慈しみ育てていただいたご家族への感謝を大切にしてください。ようお願いますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。お祝いと激励の気持ちを込めて、ご挨拶いたします。

令和八年三月二十一日

学校法人福山大学 理事長

鈴木 省三



## 福山平成大学 令和七年度学位記授与式 祝辞

皆様、御卒業、誠におめでとございます。日々勉学に励まれ、晴れの日を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、これまで皆様を温かく見守り、支えてこられた御家族の皆様にもお祝いを申し上げます。そして、熱意を持って指導にあたってこられた、学長を始めとする諸先生方に、深い敬意を表します。

皆様は、福山平成大学の建学の理念である「人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」のもと、時代の変化に対応できる知識と技術に裏付けられた総合的な問題解決能力を身につけてこられました。ここ福山の地で培った力を糧に、今後皆様一人一人が自身のフィールドで活躍されることを、心より期待しております。

このたび、本市では、今後5年間のまちづくりの指針となる「福山みらい創造ビジョン」を策定しました。「希望、安心、活力ある備後の中核都市」をめざし、重点的に取り組む政策のひとつに、「若者や女性に選ばれる都市づくり」を掲げています。若者の活躍は、社会の多様性を高め、従来の慣習や価値観に捉われない新たな価値を創造する力となり、地域経済の活性化や都市の持続的な成長につながります。若者や女性が「暮らしたい」「働きたい」と思える都市の実現に取り組んでまいります。

AI技術の進化や国際情勢の緊張など、複雑化、不安定化する社会の中で、これからいく度か困難に直面することもあるでしょう。しかし、どんな困難にも、その先には希望があります。次代を担う皆様には、広い世界に目を向け、力強く羽ばたいてほしいと願っています。そして、時には福山のことを懐かしく思い出され、いつかチャンスがあれば、福山市のまちづくりに貢献していただければと思います。

結びに、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げますとともに、福山平成大学の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。

令和八年三月二十一日

福山市長 枝 広直幹





経営学部経営学科の齋藤晴紀です。大学生活には、学びに戸惑った経験や、学祭やオープンキャンパスで地域の方と交流した思い出など、さまざまな出来事がありました。その中でも最も強く印象に残っているのは、2週間にわたる高校商業科での教育実習です。

初めての授業では、準備を重ね自信もありましたが、内容を詰め込みすぎてしまい、生徒の反応を思うように得ることができませんでした。この経験から、「うまく説明すること」と「とらわれていた」と気づき、「生徒にどうやってほしいのか」を軸に授業を再構成しました。説明を減らし、問いかけや自己学習の時間を増やすことで、教室には徐々に対話が生まれました。



四年前の春に入学してから、あっという間に月日が流れ、卒業を迎えることになりました。振り返ってみると、多くの出会いや経験に恵まれ、これからの人生の土台となる大切な時間でした。

大学生活で特に印象に残っているのは、合計四回行った介護実習です。実習では、個別支援の大切さや、利用者さんの思い、生活背景を理解することの重要性を学びました。実習指導者をはじめ、施設の職員の方々からの助言や丁寧なご指導をいただき、実りある実習となりました。

四年生になると、ソーシャルワーク実習に加え、「介護福祉士」と「社会福祉士」の国家資格取得のための勉強がありました。辛いと感じる日々もありましたが、友人と切磋琢磨しながら乗り越えることができました。楽しいことばかりではなかった大学生活でしたが、この経験が今の自分をつくり、未来につながっていくと思います。



福山平成大学に入学し、あっという間に四年の月日が経ちました。四年前の春、同じ大学に進学する友人がおらず不安を感じながらも、これから始まる大学生活への期待を胸に入学したことを鮮明に覚えています。

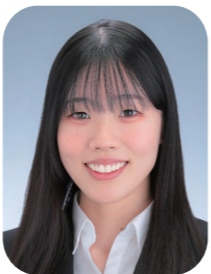
私の大学生活での思い出は、御幸太鼓部に所属し、大学行事や周辺地域で行われるさまざまなイベントで和太鼓の演奏をしたことです。練習では周囲を感じ取り、仲間と息を合わせたり、教え合ったりしながら、一曲一曲をより良いものにするために気持ちを揃えて取り組むことができました。

本番では、楽しむことを意識しつつ、納得のいく演奏になるように取り組み、演奏をやり切ったときの達成感や楽しさを感じることができました。また、演奏後に温かいお言葉をいただき、多くの人に演奏を届けられた喜びも感じるようになりました。

四年間の大学生活を頑張ることができたのは、これまで支えてくださった先生方や家族、友人をはじめ、すべての皆様のおかげです。最後になりますが、皆様から感謝申し上げます。四年間ありがとうございました。



# 大学生活を振り返って 四年間の メッセージ



大学生活の中で特に印象深い思い出が、大きく三つあります。

一つ目は、教職課程での学びです。指導案の作成や模擬授業を通して、相手に伝えることの難しさや、その言葉に責任を持つ大切さを実感しました。思うように進まず悩むこともありましたが、友人と意見を出し合い、協力しながら乗り越えた経験は、かけがえない財産となりました。

二つ目は、野外実践演習です。カヌーやスキューの演習では、初めはボートから落ちたり、何度も転んだり大変でしたが、友人と互いに教え合いながら、上達していく喜びを分かち合えることができました。

三つ目は、アルバイトを通して年齢や立場の異なる人と関わり、多くの経験を積んだことです。失敗したことも含め、その二つが自分の成長につながったと感じています。

四月からは保健体育科教員として社会に出ますが、うまくいかないときこそ挑戦をやめず、社会人としての責任や、人と向き合い協力する姿勢を大切にしていきたいです。



私は助産師を目指すために、看護学科へ入学しました。大学生活を通して、多くの学びと出会いを経験しました。

最も印象に残っているのは、二年次に行われた半年間の領域別看護学実習です。小児から成人、高齢者、妊産婦まで幅広い

方々を受け持たせていただき、それぞれの身体状況や生活背景、思いを大切にしながら、ニーズに合わせた看護を考え、実践してきました。毎日の膨大な記録物や疾患の学習、看護計画の立案など大変な場面も多くあり、思うように看護ができず悩むこともありましたが、実習で受け持たせていただいた方から「あなたが担当で良かった」と涙ながらに言っていたことは、今でも心に深く残っています。その言葉に支えられ、実習メンバーと励まし合いながら夜遅くまで共に学び、半年間の実習を最後までやり遂げることができました。

また、母性看護学実習では帝王切開術の見学に入らせていただき、新しい生命が誕生する瞬間に立ち会いました。赤ちゃんの力強い産声と、それを見つめるお母さんの喜びに満ちた表情は、感動とともに命の重さを強く実感する貴重な経験となりました。

この四年間、支えてくれた家族や先生方、実習メンバーや友人、そして実習先で温かくご指導くださった皆様に、心より感謝申し上げます。四月からは本学の助産学専攻科に進学し、産前から産後、その後の暮らしまで継続して寄り添える助産師を目指し、これからも日々努力を重ねていきたいです。



# 令和7年度 卒業生・修了者数

学 部	学 科	卒業生数
経 営 学 部	経 営 学 科	33名
福 祉 健 康 科 学 部	福 祉 学 科	18名
	こ ど も 学 科	46名
	健 康 ス ポ ー ツ 科 学 科	86名
看 護 学 部	看 護 学 科	69名
計		252名

研 究 科	専 攻	修了者数
ス ポ ー ツ 健 康 科 学 研 究 科	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 専 攻	1名
看 護 学 研 究 科	看 護 学 専 攻	2名
計		3名

専 攻 科	修了者数
助 産 学 専 攻 科	7名

合 計	262名
-----	------



## 御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育くむ。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

## 令和7年度 学生表彰者一覧

このたび、「学生表彰」として学長賞に次の6名の学生が選ばれ、令和7年度学位記授与式において、表彰されました。

学長賞は「学業部門」、「文化部門」において、特に優秀な成績を修めた学生に授与されるものです。

### 学長賞

#### 学業部門

経営学科	田中 琳
福祉学科	佐藤 沙香
こども学科	由田 涼奈
健康スポーツ科学科	森下 楓花
看護学科	仁多田 七海

#### 文化部門

こども学科	牧本 有珠
-------	-------

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学

発行日 2026年3月21日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001 (代表) FAX 084-972-7771 <https://www.heisei-u.ac.jp/>